

合同礼拝（癒しの礼拝）

2020年2月9日 午前10時 主会堂

本日は合同礼拝になりますので、主会堂にお集まりください。プログラムは入り口で渡されます。礼拝後のランチはHowel Hallにてもたれます。

説教者：Rev. Kathryn Ray

聖書拝読：コリント人への第一の手紙15章51－55節

“死は勝利にのまれてしまった。死よ、お前の勝利は、どこにあるのか。死よ、お前のとげは、どこにあるのか。死のとげは罪である。罪の力は律法である。しかし感謝すべきことには、神は私たちの主イエスキリストによって、わたしたちに勝利を賜ったのである。だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである。”

憩いの場

“祈りの習慣”

“義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。”（ヤコブの手紙5章16節）

私たちの教会は、毎年一回、癒しの礼拝を合同礼拝として行っていますが、個人的に祈りが必要な方々のために、通常、牧師5人が礼拝の最後に前に出て、それぞれに祈りを捧げます。しかし、誤解を招かないように説明しますと、この年一回の礼拝は象徴的なものにしかすぎず、神への祈りとは日常的に信徒によってささげられるべきものであることです。先日ある方と話していましたが、その方は日々3時間祈るといわれていました。すばらしいですが、そこまで時間が取れなくても、30分から1時間は可能ではないでしょうか。私の経験から言えば、自分のためだけでなく、家族や友人、教会、コミュニティなどのために祈っていれば30分は短く感じるほどです。なぜ祈る必要があるのか、それは信徒たちは主イエスキリストの十字架の血によって清められた義人だからであり（ローマ書5：1）、ヤコブの手紙5章には、義人の祈は、大いに力があり効果がある、と書かれているからです。ゆえに牧師だけでなく、信徒である一人一人も祈りによって日々、奉仕することが求められています。

この記事を読んでいる方、特にすでに洗礼、バプテスマを受けた信徒の方は祈りを奉仕とみて、日々、一定の時間をさいいただければと思います。その習慣により神のご臨在をより深く理解することができ、私たちの祈りをとおして、個人、教会、コミュニティ、国々が、主のお力により導かれていく喜びを目の当たりにできると信じています。（Yuki Scroggins）

記事: 消息

— 陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、Chieko Dano 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

お知らせ

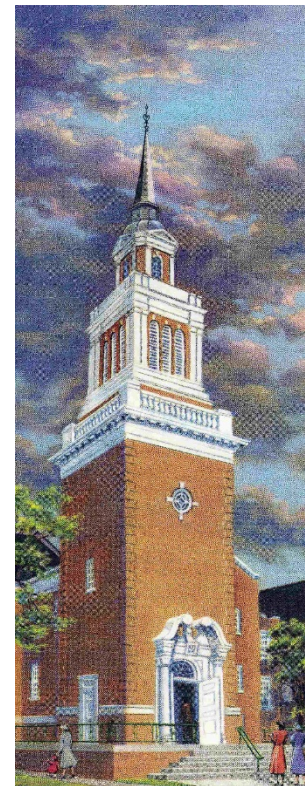
— 本日は恒例の癒しの礼拝が午前 10 時から主会堂で行われます。その後、ポトトラックランチがあります。教会がメインの肉料理を用意しますので、それぞれサイドディッシュをお持ちください。和食、サラダ、デザートなど、どのような一品でも大丈夫です。

— 2月16日は恒例の Day of Remembrance のイベントが Chicago History Museum にて午後 1 時 30 分より行われます。今回は日系人に対して開戦当時出された、大統領令の問題点に関する映画を 1 時間ほど上映し、その後質疑応答があります。どうぞご参加ください。

今週の讃美：鹿のように、主われを愛す

<https://www.youtube.com/watch?v=j0QG7V1fDz4>

発行：2020年2月5日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200



週報

第 3757 号
2020年2月9日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org